

システム情報工学特論

真野智之 (Tomoyuki Mano)

Okinawa Institute of Science and Technology

2021/06/23

AWS Educate のアカウントの用意 (1)

講義では実際に AWS のクラウドにアプリケーションを展開します。それには AWS Educate により提供されている学習用アカウントを使用します。本講義は AWS Educate プログラムに参加しているので、各アカウントには100ドル分のクーポン(利用枠)がついています。次からのスライドで示す手順でアカウントを取得します。

AWS Educate のアカウントの用意 (2)

- アカウントの招待が gcc のメールアドレスに送られてきます。件名は "Your AWS Educate Application", 差出人は "support@awseducate.com" のはずです。
- 招待のリンクに従ってアカウントを作ります。アカウントの承認に少し待たされます。
- アカウントが発行されたら, AWS Educate にログインしてください。

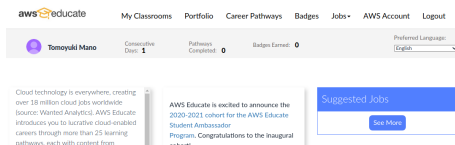


Figure: AWS Educate ログイン画面

AWS Educate のアカウントの用意 (3)

- AWS Educate のログイン画面のトップメニューバーから *AWS Account* を開きます
- *Create Starter Account* をクリックします
- 少し待つと Starter Account が作成されます



Figure: AWS Educate Starter Account の作成

AWS Educate のアカウントの用意 (4)

- AWS *AWS Educate Starter Account* と書いてあるオレンジ色のボタンをクリックします
- vocareum (Starter account を提供しているサードパーティ会社) のサイトに飛び、利用規約が表示されます。熟読の上、*I Agree* を押します。
- vocareum のコンソール画面が開きます。

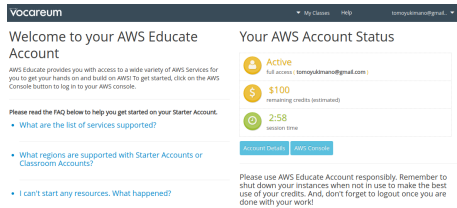


Figure: vocareum のコンソール画面

AWS Educate のアカウントの用意 (5)

- vocareum のコンソール画面から *AWS Console* と書かれたボタンを押します。
- AWS コンソールが開きます
- このようにして得られた AWS アカウントを使って講義のハンズオンを実施してください。

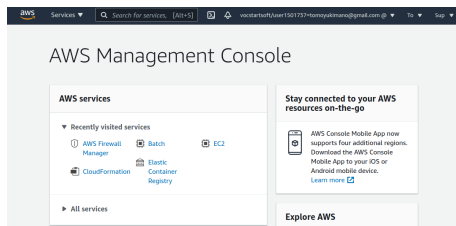


Figure: AWS コンソール画面

AWS Educate のシークレットキーの設定 (1)

ここまでで AWS Educate Starter Account の取得が完了した。
次にシークレットキーと呼ばれるものの設定を行う。シークレットキーは、AWS CLI/CDK を使って AWS の API を操作する際の認証情報を担う。

Starter Account で作られたアカウントはシークレットキーの設定方法が一般アカウントと若干異なる。

次からのスライドで示す手順でシークレットキーを設定する。
講義資料 (15章 [Appendix](#)) にも同様の説明が記載されている。

AWS Educate のシークレットキーの設定 (3)

- 続いて, `~/.aws/config` というファイルを用意し, 次の内容を書き込む. 現時点では AWS Starter Account は `us-east-1` リージョンでしか利用できないためである.

```
[profile default]
region = ap-northeast-1
output = json
```